

## 貸借対照表

(2026年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	47,054	買掛金	5,770
預け金	565,814	未払金	466,257
売掛金	247,976	未払法人税等	71,658
原材料及び貯蔵品	422	預り金	9,622
短期貸付金	45	役員賞与引当金	1,290
未収入金	196	流動負債合計	554,597
その他流動資産	7,338		
流動資産合計	868,844		
固定資産		固定負債	
有形固定資産		退職給付引当金	58,615
建物及び構築物(純額)	79,371	固定負債合計	58,615
工具器具及び備品(純額)	4,637		
有形固定資産合計	84,007	負債合計	613,212
無形固定資産		純資産の部	
ソフトウェア	117	株主資本	
無形固定資産合計	117	資本金	30,000
投資その他の資産		資本剰余金	
長期前払費用	130	その他資本剰余金	187,667
繰延税金資産	100,103	資本剰余金合計	187,667
投資その他の資産合計	100,233	利益剰余金	
固定資産合計	184,357	利益準備金	7,500
		その他利益剰余金	214,822
		別途積立金	29,020
		繰越利益剰余金	185,802
		利益剰余金合計	222,322
		株主資本合計	439,989
		純資産合計	439,989
資 産 合 計	1,053,201	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,053,201

## 個別注記表（自2025年4月1日至2026年3月31日）

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 会社計算規則（2006年2月7日法務省令第13号、最終改正 2025年2月28日法務省令第5号）に基づいて計算書類を作成しております。
2. 記載金額は千円未満を四捨五入して記載しております。
3. 資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準及び評価方法  
原材料及び貯蔵品…先入先出法による原価法  
なお、収益性の低下した棚卸資産については、帳簿価額を切下げております。
4. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。  
建物及び構築物 ……8～35年  
工具、器具及び備品 ……3～15年
  - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。  
ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
5. 引当金の計上基準
  - (1) 役員賞与引当金  
役員に対する賞与の支出に備えるため、支給見込額を計上しております。
  - (2) 退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における支給見込額を計上しております。
6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
  - (1) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### 【当期純損益金額】

128,567 千円